

大丈夫ですか

大腸がん



「この間トイレに行ったとき便に血が混じってただけけど、痔からの出血かな」とか、「健診で便潜血反応が2回のうち1回陽性だったんだけど、1回だから大したことないよね」などと言っている人はいませんか？本当に大丈夫ですか？

大腸カメラはおしり（肛門）から観察するもので、どうしても

「恥ずかしい」が検査を拒ませてしまいます。実際には、おしりが見えない特殊な半ズボンをはいて検査になりますので思ったほどではありません。挿入時に痛みが出やすい方もいますが、カメラの挿入技術は日々進歩しており、腸を伸ばすことなく挿入すること（軸保持短縮法）が可能であれば、ほぼ無痛の検査となります。中には「胃カメラよりもよっぽど楽だね」と話す方もいるくらいです。

日本人の死因の1位は悪性新生物、いわゆるがんです。2位の心疾患、3位の血管障害を合わせてもかありません。その中でも注目されるのが大腸がんです。女性で

はトップ、男性でも2位になりそうな勢いです。町の健診、皆さんは受けていますでしょうか？健診の便潜血検査は目に見えない極めて微量の血液の混じりを見つけることができますのです。陽性だった場合、約8割の方からポリープやがんなど何らかの大腸の病気が見つかると言われていきます。便潜血反応が一度でも陽性と出た方はもちろん、目で見て便に血が混じったことがある方は極めて要注意です。他にも便が細くなった、便秘がちになった：などの症状がある方は放っておかずに近くの先生にご相談ください。

大腸がんは、早めの検査と治療で根治（完全に治る）することが可能な病気です。小さなポリープや極めて早期のがんであれば日帰り内視鏡手術（ポリープ粘膜切除術）も可能になってきています。身体への負担を最小限に治療ができるのです。その昔がんは不治の病と言われてきましたが、きちんと内視鏡検査を受けることで手術を必要とする大腸がんを大幅に減らせるのです。心当たりのある方は、ぜひ検査を受けてみませんか。

文 緑の杜クリニック 木平 健